

キャラクター名
吉野瑛（よしの・あきら）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ サラマンダー		ワークス	歌手	カバー	高校生
	オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	31 %	
出自	義理の両親	経験	トラウマ	邂逅	目まぐるしい生活	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	0	2			4	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術: 音楽	2		知識: N市	2		情報: ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
A+B「brave sunlight」	白兵	4r+1	6	21		
A+B(100%)	白兵	4r+1	6	25		
①+②「To where the light shines」	白兵	8r+1	6	21		C値8、HP3消費
①+②(100%)	白兵	12r+1	6	25		C値7、HP3消費

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ: 噂好きの友人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 賢者の石P		N		
固定: 歌	P 幸福感	N 嫌気		
固定: 水城美香	P 懐旧	N 不安		
シナリオ: 宮沢千早 (みやざかちはや)	P 友情	N 不安		
彼岸霧雨	P 連帯感	N 敵愾心		
荒又玻璃奈	P 信頼	N 恐怖		
ディス	P 連帯感	N 猜疑心		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
①コンセントレイト: サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
②炎神の怒り	3	3	メ/リ	-	-	-	-	
効果: ダイス+[LV+1]個、HP3消費								
③拒絶の業火	1	4	メジャー	至近	-	対決	120%/嫌悪	
効果: 攻撃力+[LV*2]、HPダメージで対象5m移動（離脱可）								
A氷炎の剣	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: <白兵>武器作成								
B地獄の氷炎	4	2	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果: 《氷炎の剣》の攻撃力+[LV*3]								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動（離脱可能）、エンゲージ通過可能、シーンLv回								
スポットライト	★	-	メジャー	視界				
効果: 任意の場所に光源を設置								
天使の絵の具	★	-	メジャー	視界	シーン[選択]			
効果: 映像を大気中に投影、見破る場合は対象の<知覚>と対抗								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

使用: 基本1・2、上級、EA、RU
 一人称: 俺/二人称: お前、○○さん/三人称: お前ら、○○さん達
 親しい同級生、同年代の人にはタメ口、目上の人や敬語を使う相手には「～っす」と語尾に付ける
 「俺の歌う理由は何なんだろう。この日常は、本当に正しいものなのかな？」

N市公立高校に通う学生。
 学業に励む一方、放課後はN市中央公園に行って行き交う人の前でギター片手に歌うことが趣味。
 歌の上手さはそれなりだが、ストリートミュージシャンとしてはまだまだ人を集められない。

5年前、両親は家に押し入った強盗（実際はジャーム化した犯罪者）に殺害される。
 それを目の前で見たことがトラウマになっており、ショックでオーヴァードとして覚醒。
 衝動に耐えきれず、その場で暴走状態に陥りそうになるが、ジャームを排除するべく現れた“異界の巫女”新条梢の力により、体内に賢者の石を形成される。（そのため、外からは賢者の石があることは分からない）
 暴走するレネゲイドの力が賢者の石に集中することによって、逆にレネゲイドのコントロールが可能になり、瑛はジャーム化を免れた。

通常ステージとの違いは、ここでオーヴァードとなったことを忘却したことがだが
 エンドラインステージではオーヴァードに覚醒したことを忘れずに自覚している。
 （その分、レネゲイドのコントロールも通常ステージより得意としており、ちゃんと炎と氷を操れる）
 両親を殺した人間も同じ能力であることに気づいており、その嫌悪感からオーヴァードの力をひた隠しにして生きてきた。

両親の死後、親戚に預けられ、境遇により腫れ物扱いされしばらく塞ぎ込んでいた。